

平成 25 年度「人生の達人セミナー」開催

11月13日（水）、本年度の「人生の達人セミナー」が開催されました。このセミナーは、本県にゆかりの深い人生の先輩から、経験をふまえた実社会のきびしさなどのお話をいただくことで、生徒に21世紀をたくましく生き抜く力を身につけさせるとともに、生徒の人生観や倫理観を育むことをめざしたものです。

今年は、対馬出身で、福岡市の社員教育接遇マナー研究所代表 俵純子 様をお迎えし、「今、ここにある未来」と題し、お話をいただきました。事前の打ち合わせで、「実際に生徒たちを目の前にして、様子をみながらお話をします」とおっしゃられたとおり、様々な課題を抱えながら学ぶ夜間部の生徒たちにとって、実感をともなう内容に生徒たちも引き込まれ、またたく間の一時間でした。



以下は、その内容をまとめたものです。

就職活動で不採用が続き、精神的に辛かった時に読んだ本の「苦しみに押しつぶされるか、苦しみをバネにして飛躍するかは自分自身が選べばいい」という文章に触れ、考え方が大きく変わった。また、仕事に就いてから上司に言われた「やったことがないことと、できないことは違う」という言葉で、仕事に積極的になり自信もついた。また別の上司より「ありがとう」という言葉をかけられた経験が、『お金を稼ぐための仕事』という考えに加えて『ありがとうと言われる仕事をしたい、ありがとうと言われる人間になりたい』との考えを持つようになったきっかけとなった。

多くの人と触れ一緒に仕事をするうちに、仕事に関しては、学歴は一切関係ないことや、組織では協力的である人が必要とされるということを学んだ。仕事を通して、出会いを大切に人はよい出会いに恵まれ、出会いから人と人とのつながりが生まれ、いずれは自分を助けることになることも学んだ。

多くの経験を踏まえ、次の3つの考えを持つに至った。

一つ目は、自己肯定思考を持つこと。どんな人でも長所と短所を持ち合わせているが、どちらに目を向けるかによって自分の発する言葉や行動が変わる。短所はあって当然と思いい、長所を伸ばすようにしたらよい。

二つ目は、他者肯定思考を持つこと。自分の長所だけではなく相手の長所にも目を向けるようにすることで、人を大切にしようと思う気持ちが生まれ、出会いを大切にすることができる。

三つ目は、自己効力感を持ち、人間関係を大切にすること。自分から積極的に話すことで人間関係の距離が縮まり、円滑な人間関係が構築できる。

言葉は心のかたち。言葉はその人の人柄を表す。行く言葉が美しければ返ってくる言葉も美しい。どれだけ自分以外の人を思いやることができるかが肝要で、出会いを大切にし、自分の命を大切にすることで世界観や視野を広げることができる。

学校に通っている間に様々な人と信頼関係を築き、自分とは合わないと思った人こそ、人間関係構築の力を養うチャンスだと思って積極的に人間関係を築いてほしい。

今の自分の人生を精一杯生きてほしい。

説得力のある話し方や身振り、提示される映像に、生徒たちが目を輝かせながら話に聞き入り、反応している姿が大変印象的でした。講演終了後は、多くの生徒たちが先生のもとに行き、名刺をもらう姿に、いかにインパクトのある講演であったかが現れています。生徒たちの感想文を見ても、「やったことがないこととできないことは一緒じゃない」「自分の長所を見つけることが大事」「出会いを大切に」「笑顔の大切さ」「だめでも何度でも挑戦したい」など、それぞれが置かれている状況に応じて多くの示唆を受けたようです。何より、前向きに自己の状況に対処しようという意欲を持つことにつながったことで、この講演の目的を達成できました。



当日の生徒の感想の一部を紹介します。

「おもしろい話の合間に、とても共感できる話があって、聞き入ってしまいました。今、自分は進路のことで悩んでいるけれども、俵さんの話を聴いて、もう少し肩の力を抜いて、いろいろな所に目を向けてみようと思いました。短所ではなく長所を探したり、ポジティブな言葉に言い換えてみたり、そういう気持ちにさせてもらえる講演でした。」

「諦めずに何社も面接を受けに行く先生の姿勢は、特に見習うべきだと感じました。子供がいても、働いた経験がなくても飛び込んで、やったことがない仕事でも自分で勉強したからこそ、”自分はやればできる”と思えるんだと感じました。」

「講話をきいて心から共感、そして感動しました。何事も最初から諦めないこと、自己肯定・他者肯定、できないこととやらないことはイコールではないことなど、心に響きました。自分が発する言葉が美しければ、来る言葉も美しいということは、本当にその通りだと思います。今の出会いも、これからの出会いも大切に、今日を積み重ねてすてきな未来造りをしていきたいと思います。」